

山根耕治 議員



校則の実態は？

問 本町の小中学校の校則について、服装や行動を過剰に規制していると見受けられるものもあります。

文部科学省も昨年に、教育現場での行き過ぎた校則への配慮を求める事務連絡を出しています。

本町における小中学校の校則について把握している状況を伺います。

適切な対応を行っています

答 改めて、各学校の校則を確認しました。

校則の内容が適切に定められ、教育効果を高められる規則となるよう、引き続き各学校の支援にあたっています。

子どもや保護者と話し合いの場を！

要望

学校をとりまく状況は常に変化するため、校則は絶えず積極的に見直さなければなりません。

見直しの際には、当事者である子どもや保護者の意見を反映させるための話し合いが必要です。

それぞれの学校で話し合いの場があることを子どもや保護者に示し、見直しの内容によっては少数意見を大切に、多様性を尊重した合意形成ができるように期待します。

子どもを型にはめるのではなく、一人ひとりの育つ力を伸ばすことが、周防大島町の教育の基礎となるよう提言します。



話し合いを通して適切な校則を！

竹田茂伸 議員



救急搬送困難事案解消を！

問 救急車が到着して病院の受入先が決まるまでに30分以上かかっている救急搬送困難事案が増えていると感じますが、町立病院での受入実態はどうですか。また、解決策は？

受入増加に向け努力します

答 受入要請は町内のみならず町外からもあり、令和3年度の4月から1月の時間外の救急搬送受入件数は70件を超えており、お断り件数は令和2年度と比べ33件減っています。受入件数を増やすためには医師の確保が最優先です。できる限りの対応をしています。

橘医院の入院再開を！

問 昨年6月の第2回定例会において、入院受入を再開したいと回答されましたが、一向に進んでいません。

なぜ進まないのか、理由と解決に向けた町長の考えを伺います。

人員確保に努めていきたい

答 橘医院の入院受入を休止している理由は、人員が確保できていないためで、地域住民の皆さまには大変申し訳なく思っています。

現状、病院事業局の看護職員は令和2年度末よりも1名少なく、令和4年度に大島看護専門学校卒の7名を採用予定としていますが、それでも不足していますので、今後も人員確保に努めてまいります。

